

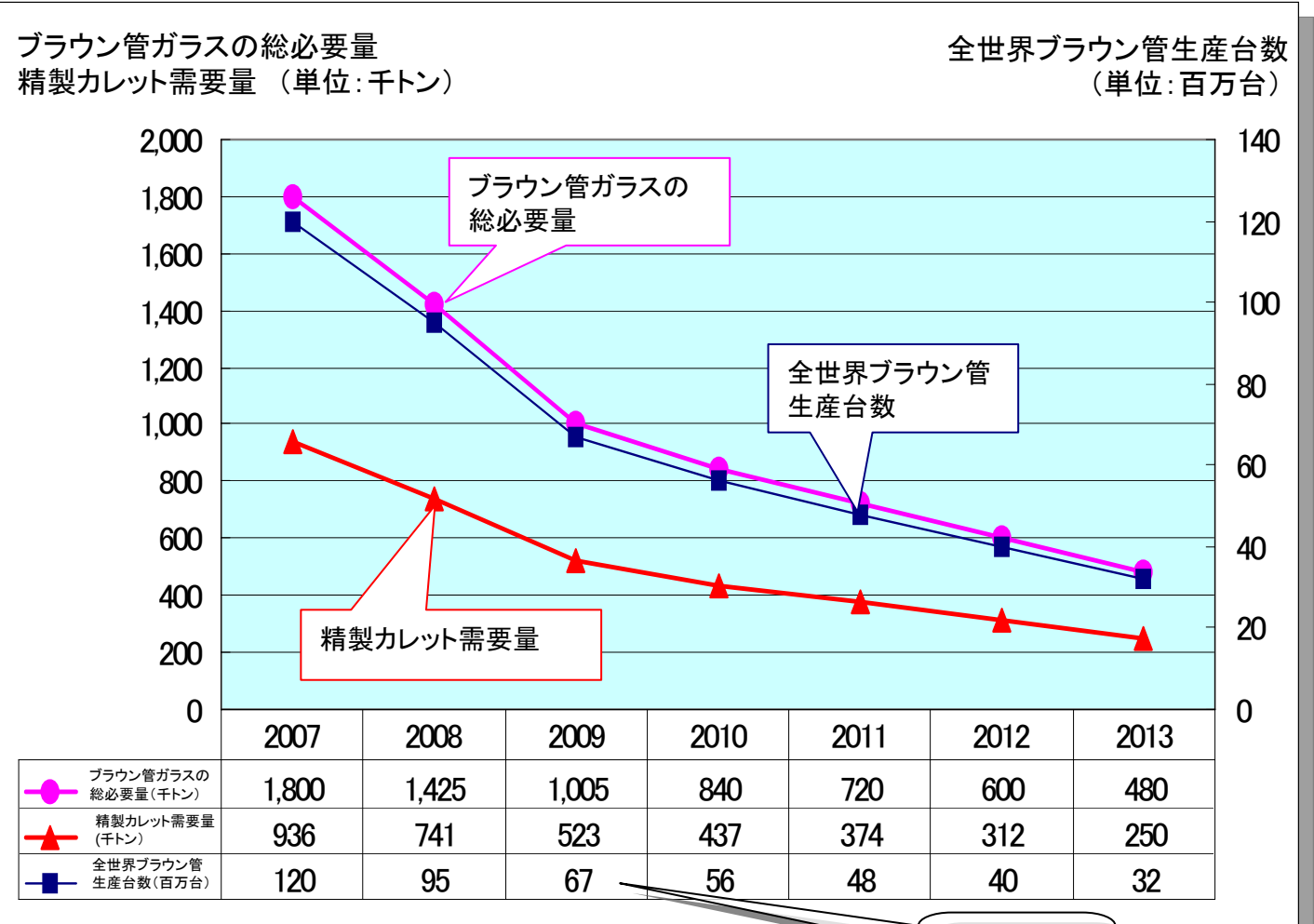
精製ブラウン管ガラスカレット 直近の状況報告

2009年12月 7日

社団法人 電子情報技術産業協会

図1. 精製ブラウン管ガラスカレットを取り巻く状況は急激に悪化

2009年度のブラウン管生産台数（推定）は、当初計画の約7,650万台から約6,700万台に下方修正され、精製ブラウン管ガラスカレット需要量も約69万トンから約52万トンと大幅に減少すると予測。



全世界ブラウン管 生産シェア予測 (08年度)		
中国	64%	輸入規制
マレーシア	19%	輸出可
韓国	9%	輸出可
インド	7%	税関問題 輸出停止

ブラウン管ガラスの総必要量＝ブラウン管生産に必要なガラス総量(15kg/台で算出)
精製カレット需要量＝ブラウン管生産において、総ガラスの52%を精製カレットにて利用

当初予測は
7,650万台

図2. 国内精製ブラウン管ガラスカレット供給量と需要量予測

2011年7月の地上アナログ放送終了時期まで、精製カレット供給量も増加するが、マレーシアでのブラウン管ガラス需要は減少。近い将来、供給量が需要量を上回ると見込まれる。

